

いたばし医療的ケア児等 支援体制の構築

令和6年度 第2回重症心身障がい・医療的ケア児等会議

板橋区における医療的ケア児の支援体制の課題

ライフステージが変化する際、支援が途切れてしまう時期がある

医療・福祉制度、入園・入学に関しての情報収集が保護者の負担となっている

「医療的ケア児等コーディネーター」の動きが明確になっていない

医療的ケア児とその家族への支援課題を把握する仕組みが十分ではない

課題に対してのアプローチ

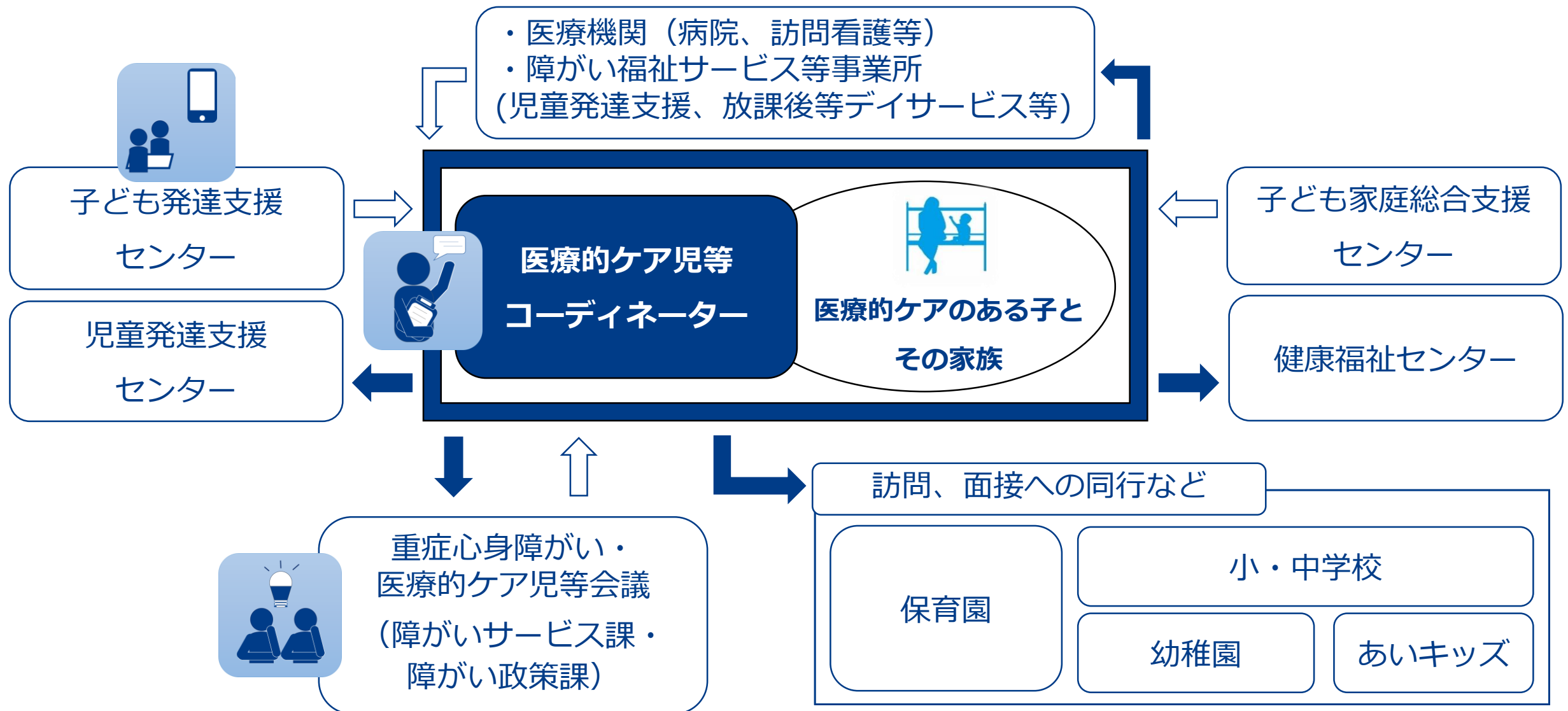
ライフステージが変化する際、支援が途切れてしまう時期がある
⇒ライフステージの変化に応じた伴走支援を実施

医療・福祉制度、入園・入学に関する情報の収集が保護者の負担となっている
⇒情報の整理と収集、見通しを持ったアドバイスを提供

「医療的ケア児等コーディネーター」の動きが明確になっていない
⇒区として、医療的ケア児等コーディネーターの役割を確立

医療的ケア児とその家族への支援課題を把握する仕組みが十分ではない
⇒利用者から情報を吸い上げ、ストックしていく仕組みを検討

全体のイメージ図



全体のイメージ図（パート分け）



コーディネーターの役割

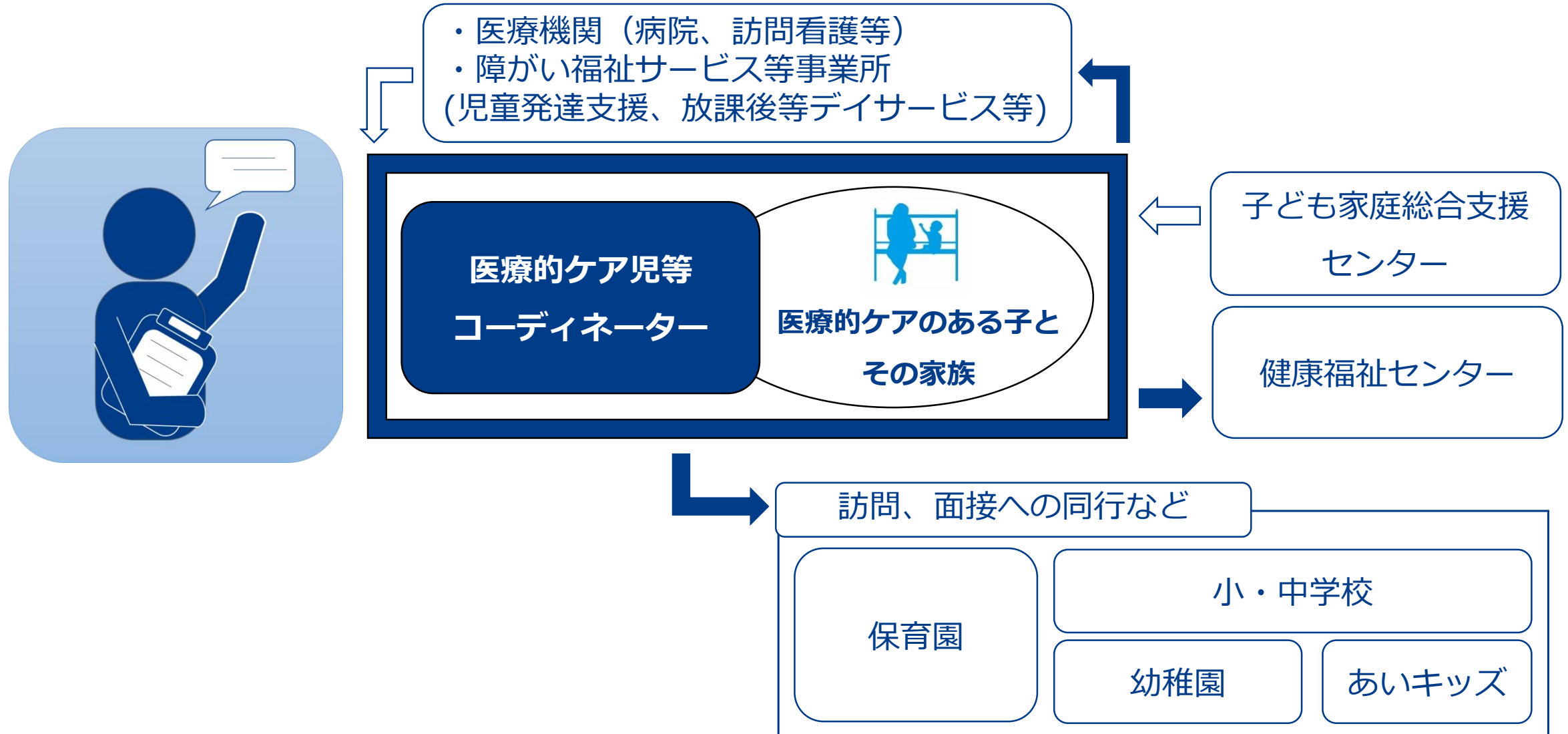


医療的ケア児相談窓口の役割



庁内の連携体制構築

コーディネーターの役割



コーディネーターの役割（概要）



寄り添った支援（伴走支援）

利用者のライフステージに合わせて発生する課題や困りごとの抽出と解決に向けての対応

医療的ケアを行う機能はなし

コーディネーターの役割（詳細）



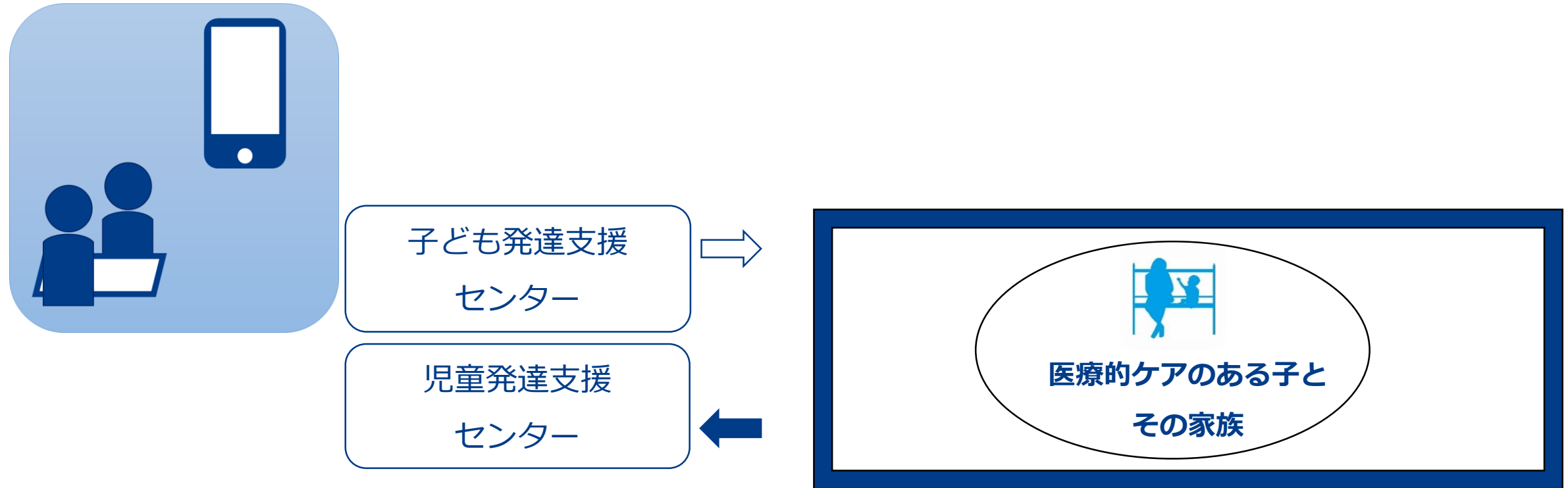
コーディネーター業務を委託

医療＋福祉的な相談を受け、課題解決のために支援

計画相談における**医療的ケア児の対応を明確化**する狙いもあり

万能ではなく、計画相談に近い存在

医療的ケア児相談窓口の役割



医療的ケア児相談窓口の役割（概要）

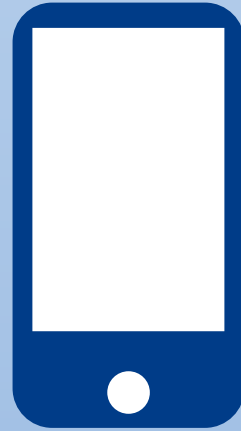


相談機能の充実

従来の発達に関する相談窓口に加え、
医療的ケア児に関する相談窓口を設置

窓口を設置することで、疑問や課題を
くみ上げやすい体制を整備

医療的ケア児相談窓口の役割（詳細）



子ども発達支援センターで、**医療職を配置**した新たな相談窓口を設置します。

発達に関する悩みだけでなく、医療的ケア児及びその家族が抱える**生活上の悩み**について相談を受けます。

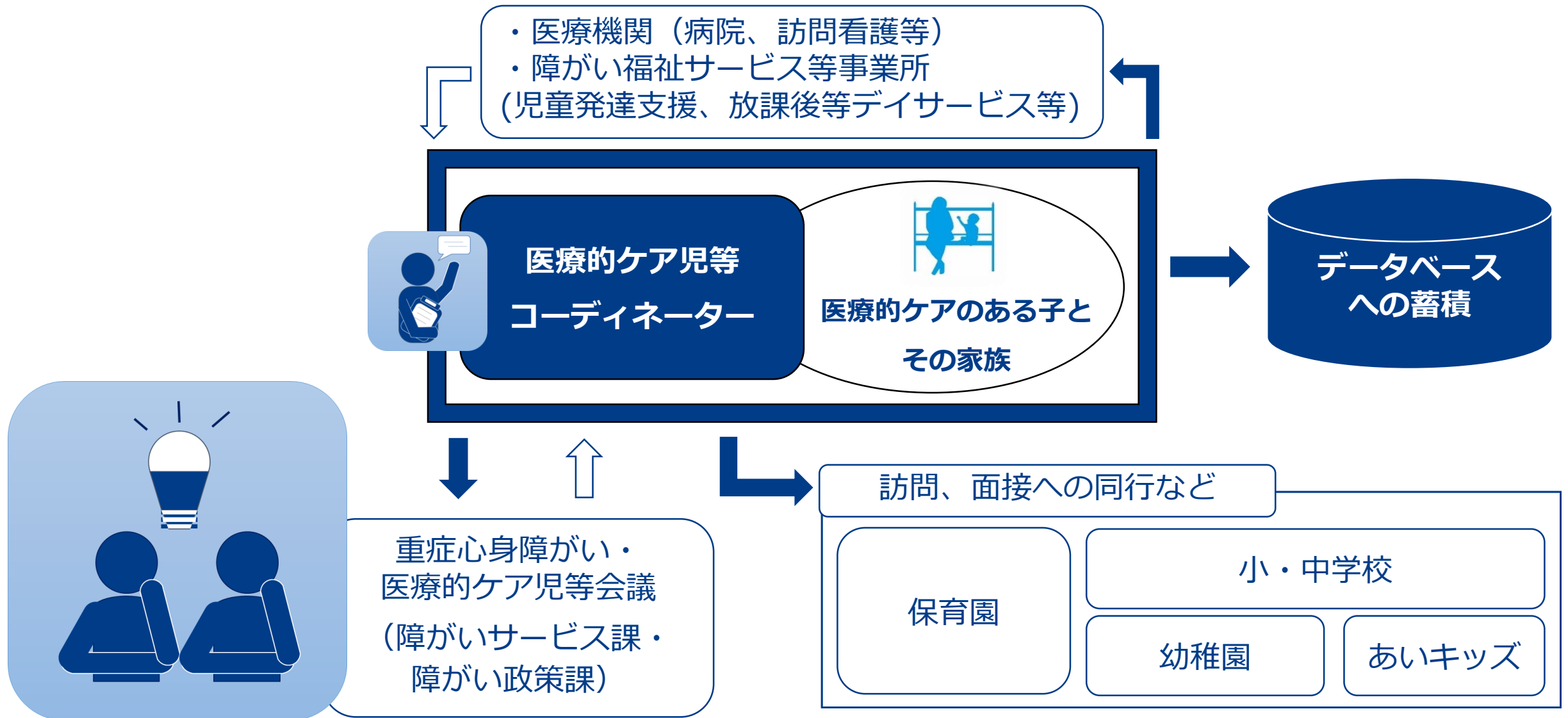
医療的ケア児相談窓口の役割（詳細）



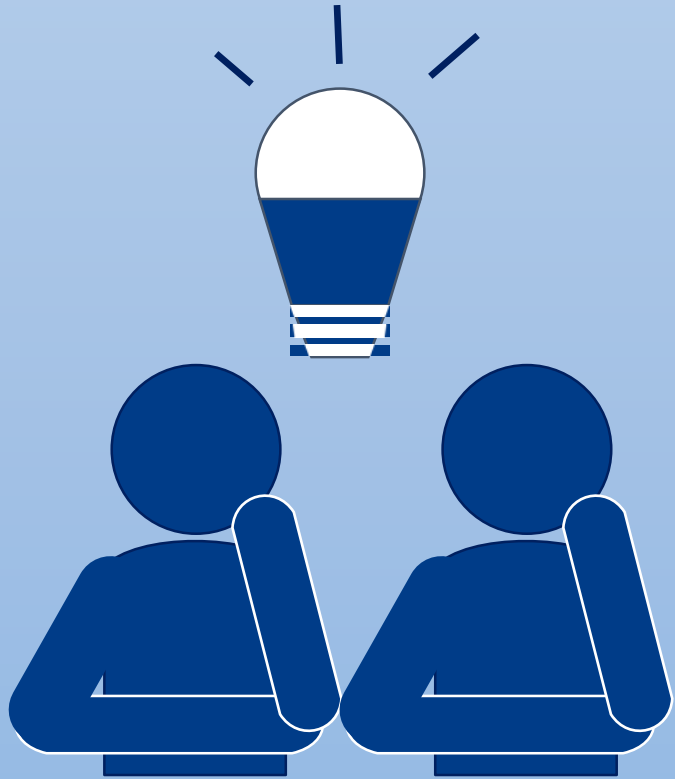
相談者の希望に応じて、コーディネーター事業を案内します。

障がい児支援係（区）、医療的ケア児等コーディネーター、子ども発達支援センター（医療的ケア児相談窓口）との連携で利用者の状況を共有します。

庁内の連携体制構築



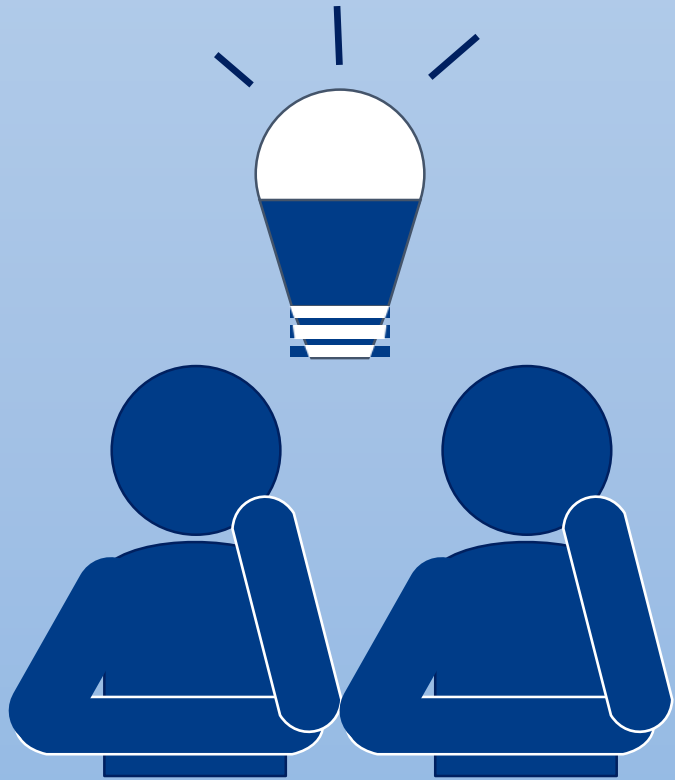
庁内の連携体制構築（概要）



支援体制の課題抽出・改善検討

コーディネーター事業を中心に、医療的ケア児及びその家族のモニタリングを進めることで、対象者全体の解像度を高める

庁内の連携体制構築（詳細）



障がいサービス課障がい児支援係が開催している、重症心身障がい・医療的ケア児等会議等において本事業の充実について検討を進めます。

コーディネーターを中心に抽出した課題や困りごと等をまとめ、会議体にあげていきます。

その他

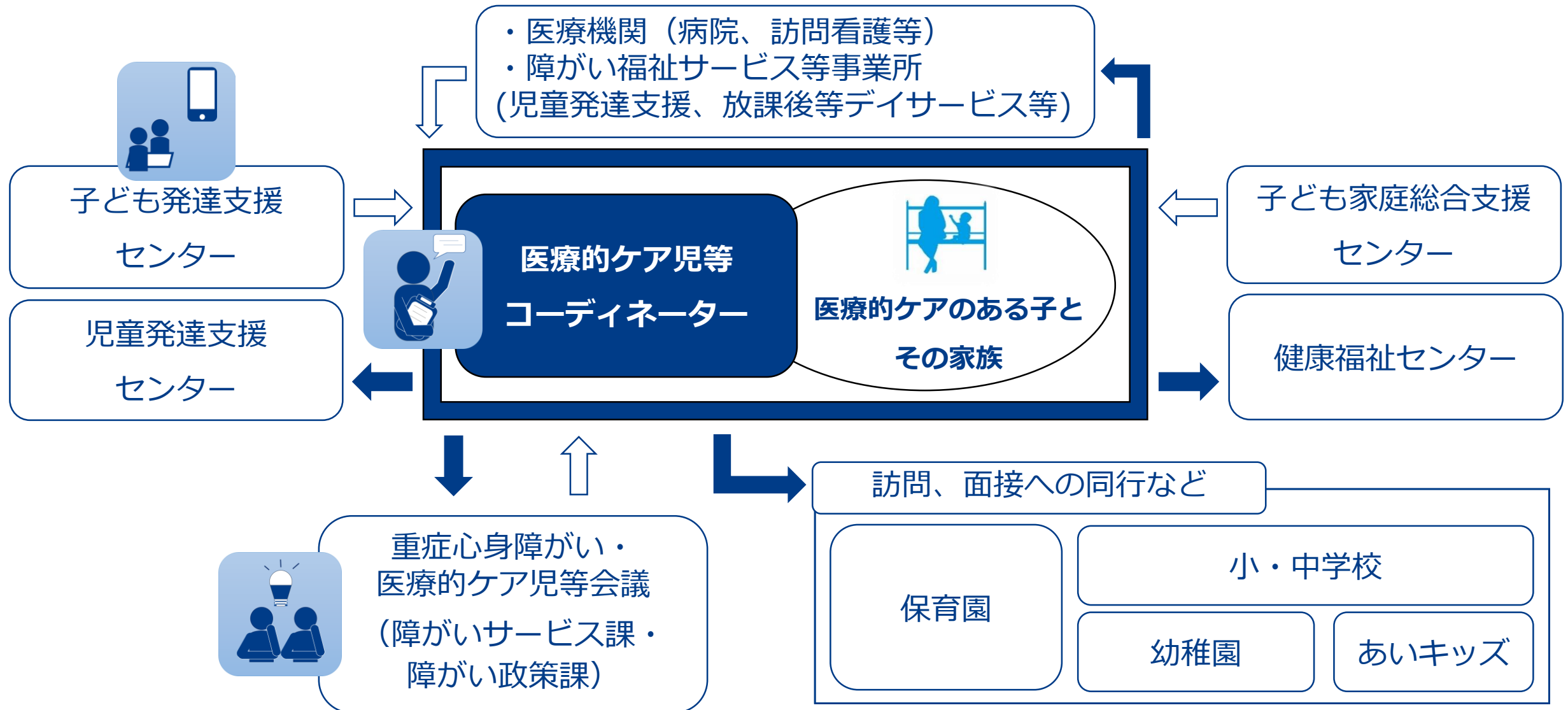
コーディネーター業務の標準化

各部門との横断的な連携を予定

利用の方法や手続き等については現在も検討中

事業の案内を作成予定

全体のイメージ図



ご清聴ありがとうございます。